

緑 化 通 信

2019
2月25日
(年7回25日発行)
第471号



発行所

一般社団法人 日本植木協会

〒107-0052 東京都港区赤坂6-4-22 三沖ビル3階
TEL.(03) 3586-7361 FAX.(03) 3586-7577
URL: http://www.ueki.or.jp/
E-mail: honbu@ueki.or.jp



購読希望の方は上記宛へお申込み下さい。年間購読料 5,000円

平成31年度通常総会

1月29日(火) ヒルトン名古屋で

〔一社〕日本植木協会は、平成31年度通常総会を、1月29日(火)名古屋市の「ヒルトン名古屋」で開催した。

〔総会前理事会〕 通常総会の開会に先立ち、総会運営の確認等を図るため正副議長との打合せ及び総会前理事会を開催した。出席者は、三役、理事、正・副議長、議事録署名人、中部ブロック長及び事務局。議事は平成31年度総会等への対応、役割分担等について打ち合わせを行い、円滑な総会・大会の運営を図ることとした。

〔通常総会〕 開会に先立ち、事務局から定足数の確認が行われ、本人出席123名、委任状146名、計269名で総会が成立したことを報告した後、秋山富士雄副会長の開会の辞で開幕した。はじめに、平成30年度の逝去された会員のご冥福をお祈りし黙祷を捧げた。後、穴倉孝行会長の挨拶、林野庁長官(長崎屋圭太造林間伐対策室長代読)、農林水産省生産局園芸作物課野口武人花き産業・施設園芸振興室長、愛知県知事勝又久幸農林水産部農林基盤局長、及び愛知県議員小林功(愛知県緑化木生産者団体協議会会長)から祝辞をいただいた後、ご来賓の紹介を行うとともに、頂戴した多くの祝電が披露された。

引き続き、協会会長表彰が行われ、穴倉会長から、従業員永年勤続表彰7名に對し感謝状、特別庭園樹木(名木)認定3点に認定証が授与された。また、緑育に顕著な活動をした九州ブロック鹿児島支部に對し感謝状が授与された(表彰者等については別掲)。

議長は、第1号議案「平成30年度事業報告」と第2号議案「平成30年度決算報告及び監査報告」は関連していることから併せて審議を行った。事務局から第1号議案と第2号議案の説明があり、荒井利昌監事から監査報告がなされた。会場からは、委員会の見直し・苗圃(静岡県)、清水洋樹氏(清水植物園/福井県)が指名された。

議長は、第1号議案「平成30年度事業報告」と第2号議案「平成30年度決算報告及び監査報告」は関連していることから併せて審議を行った。事務局から第1号議案と第2号議案の説明があり、荒井利昌監事から監査報告がなされた。会場からは、委員会の見直し・苗圃(静岡県)、清水洋樹氏(清水植物園/福井県)が指名された。

穴倉会長挨拶



平成31年度通常総会の開催にあたり、沢山の会員の皆様にお集まりいただきましたことに感謝申し上げます。はじめに、会員の皆様方に協会運営に際しご協力・ご支援を頂いていますことに対して厚くお礼申し上げます。また、本総会にお忙しい中、林野庁長官、農林水産省生産局、愛知県知事及び愛知県県議会議員をはじめ多くの皆様方がご来賓としてご臨席賜りましたこと心より感謝申し上げます。さて、我が業界をみるとアベノミクス経済効果もほど遠く大変厳しい状況にありますが、来年に迫った東京オリンピック・パラリンピック関連施設や2025年に開催が決まった大阪万国博覧会での緑化木需要の拡大が期待されているところです。このような中、当協会は公益目的事業である「緑育啓発事業」、「緑化関係人材育成事業」を始めとする緑化に関する事業を実施し緑の大切さの普及や需要の拡大に努めてまいりました。今年度は、北京において「国際園芸博覧会」が開催されます。この博覧会を農林水産省が進めている花き輸出拡大を図るための絶好の機会と捉えています。協会としては、博覧会よりも中国における植木事情を掌握するため、7月に視察を計画していますので、多くの方々に参加いただきたくお願いいたします。

平成31年11月30日をもって公益目的支出計画は終了いたしますが、これまで行ってきた公益目的事業の継承や東北の震災復興事業をはじめとする各種の緑化に積極的に関与していくことも考慮せざるを得ません。これらの需要に応えるため協会一丸となって取組み、緑豊かな国づくりに貢献してまいります。結びに、本総会の開催にあたりご尽力いただいた中部ブロックをはじめとする皆様方に深く感謝申し上げますとともに、総会にご参集の皆様のお健勝とご活躍を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。



議長は、議長に小畑勝裕氏(有松園/静岡県)、副議長に橋本幸夫氏(橋本園芸/愛知県)と山田賢治氏(株ナセリーヤマダ/三重県)が、議事録署名人には村松達彦氏(ヤマキ種

苗圃/静岡県)、清水洋樹氏(清水植物園/福井県)が指名された。議長は、第1号議案「平成30年度事業報告」と第2号議案「平成30年度決算報告及び監査報告」は関連していることから併せて審議を行った。事務局から第1号議案と第2号議案の説明があり、荒井利昌監事から監査報告がなされた。会場からは、委員会の見直し・苗圃(静岡県)、清水洋樹氏(清水植物園/福井県)が指名された。

永年勤続表彰



城下優子氏 (有グリーンファームオオタ)



石黒美智子氏 (有グリーンファームオオタ)

一般社団法人 日本植木協会会長表彰等

従業員永年勤続表彰

- | | |
|---------|---------------------|
| ○村松憲男氏 | ヤマキ種苗園(静岡県) |
| ○伊藤昭二氏 | バードグリーン(岐阜県) |
| ○石黒美智子氏 | (有)グリーンファームオオタ(愛知県) |
| ○城下優子氏 | (有)グリーンファームオオタ(愛知県) |
| ○山本和生氏 | (有)美好緑化(愛知県) |
| ○大木 薫氏 | (株)レコムグリーン(愛知県) |
| ○清水 洋氏 | (株)沖植物園(三重県) |

感謝状

- 九州ブロック鹿児島支部
緑育出前授業の多大な貢献により

特別庭園樹木(名木)

- 近藤増男氏 (有)小田原植木(神奈川県)



豊岡氏から貴重なご意見



賛助会員紹介

答がされた後、賛成多数で承認された。第5号議案「役員(選任)については、加藤一巳監事から辞任願いが提出され、西坂哲紀氏(株大西屋/愛媛県)から監事就任承諾書が提出されたことから審議の結果、賛成多数で承認された。議長は、他に審議すべき議案の有無について会場に諮ったが意見がなかったことから提案された議案についてすべて終了したと宣言し、議長・副議長は退任した。引き続き、報告事項が事務局よりあった。平成32年度通常総会(創立50周年記念大会)の開催地は東京都で、平成32年1月24日(金)に開催すると報告され、関東・甲信越ブロックの清水宣昭氏(有清水種

情報提供

総会終了後に情報提供が行われた。

植木・盆栽の輸出が増加する中、花き輸出拡大協議会では輸出における線虫問題を検討しており、その委員である、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構の上級研究員である立石靖氏から「EU向けの植木及び盆栽輸出における線虫対策技術の開発」と題した情報提供がされた。

記念講演

記念講演は、落語協会の林家時蔵師匠が講演した。

林家時蔵師匠は、大学卒業後、林家正蔵(後の林家彦六)に入門、昭和60年に真打に昇進、古典落語を主に演じているが、ゴミの減量とリサイクルについての「環境落語」や笑って健康になる「健康落語」も演じており、環境落語は評価を受け環境大臣から感謝状を授与されている。

講演は、2部構成で、1部の講話では「師匠と弟子」をテーマに、これまで仕えてきた林家彦六師匠、春風亭柳朝師匠、林家木久扇師匠の人となり話を話され、第2部の落語では「竹の水仙」を演じられた。会場は笑いに包まれ大盛況の



林家時蔵師匠

講演であった。講演終了後、倉会長からお礼の言葉を述べ終了した。

意見交換会

意見交換会は、湯浅浩海氏(有湯浅義生園/三重県)司会進行で始まり、始めに、黒田晴彦中部ブロック長の歓迎挨拶に続き、倉倉孝行会長、国会終了後に急遽駆けつけていただいた有村治子参議院議員、愛知県議会の松川浩明議長に挨拶を頂いた後、倉倉の紹介を行い、森田善明理事会長の首頭で乾杯が行われ、懇談・懇親の宴に入った。全国各地からの会員と来賓の方々と懇談や互いの歓談を通して大いに盛り上がり、宴たけなわの中に、橋本幸夫愛知県支部長の中締めで宴がお開きとなった。



意見交換会



顧問 有村治子氏



中部ブロック長 黒田晴彦氏

青年部会だより

中国・四国ブロック

青年部研修会

田 宮 慎 二
(南田宮園芸・鳥取県)

今回の中国・四国ブロック青年部研修会は、8月22日に福岡県で開催されました。当日は、台風19号・20号の接近で開催が危ぶまれましたが、進路が逸れ、とても快晴で青年部新会員の有限会社 竹本園の坂口さんを含む6名で研修会を行うことができました。

博多駅集合後、会員さんの車で、有限会社 山田園芸農場さんの圃場に向かい、視察をさせていただきました。こちらでは、多種多様な植木の生産をされており、アガベ・グゼレリア・メアリウカ・ウエストラングリア・メリアンサスマヨール・ロドコマカペンス・ニューサイラン・などのオーストリア原産植物も多種、揃えてありました。そして、植木の海外輸出もされており、ゴヨウノマツの輸出待ちの物を大きなバッグで管理してありました。しかし、この夏は

雨が全く降らず、バッグでの管理はとても難しい感じですが、有限会社 山田園芸さんではスプリングライの水滴の大きさを小さい物にするという、このことでした。そして、そこではゴヨウノマツの5〜6年物を曲がり仕立てにする作業を見させてもらうことができました。一つ曲げるのにも樹をよく観察をして、曲がりのきつかけがあるところ曲げなくてはいけないそうです。一つ曲げるという作業だけでも高い技術と見極めが必要なんだと感じました。

そして、その後は周辺を案内してもらいました。雑木庭に使う山取りの樹木を揃えてある圃場では、根元から曲がった物、斜形の物、下枝がなく上部で広がった樹形の物など、とても個性溢れる樹形の物が多くありました。雨も降らないこの夏の中、モミジ等の葉



星野村



が焼ける事もなく、とても素晴らしい管理がしてあり、とても驚きました。他にもクロガネモチの10M級の円錐つくりの樹やオチャノキの株立ちの樹など、今まで見たことのない樹形の物など、沢山視察することができました。その日の夜は福岡市内で懇親会を行い、皆さんと親睦を深めました。

次の日は台風の影響もあり、希望者のみ参加で研修を行いました。レンタカーを借り協会の有限会社 福岡緑化情報センターの福島さんに星野村を案内していただきました。星野村は、福岡県の南東部に位置し、東西に細長く、東は標高1006Mのカラ迫岳を背に、大分県との県境の緑豊かな山村で、村の標高は200M〜1000Mに及び、総面積の84%を山林が占めている場所で、村の組合で生産をされています。気候は、温暖で雨が多く朝夕の寒暖の差が大きく、村の大部分は急峻な地形で石積みの棚田で、ハイノキ・アセビ・ソヨゴを主として生産されています。とても良質な物を生産され

ていました。一つ一つの畑が小さく、大型車も入れない場所ばかりで生産も2〜3Mの大きさの物が多かったです。台風の接近もあり、午前で研修を終えましたが、とても台風に左右されなりました。

お知らせ

第13回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト表彰式

日時 平成31年3月1日(金) 13:30~16:30
場所 日比谷コンベンションホール・大ホール (千代田区)

環境緑化樹木識別ポイント講習会

東京会場:平成31年6月2日(日) 国立オリンピック記念青少年総合センター 4階(東京都渋谷区)
九州会場:平成31年6月15日(土) 福岡県緑化センター

お詫び 緑化通信470号ナショナルプランツコレクションにてウメ(バラ科アズミ属) *Armeniaca mume* (APGⅢ)に訂正致します。

会 員 動 向

メールアドレス変更

▷八街植木(千葉県) yachimataueki0080@dune.ocn.ne.jp

訃 報

垣見 俊二 様(協会員)
(株)三重垣一園芸(三重県)
平成31年1月29日没 享年70年

平成31年度 第1回理事会を開催

12月13日(木)13時から協会議室において理事14名、監事2名及び事務局出席のもと阪上和彦副会長を議長代理に選出し、第1回理事会が開催され、次の議事について審議を行った。

○平成30年度の事業報告及び決算について
事務局から平成30年度の予算執行状況について報告

産及び正味財産増減について適正に表示されているとの報告がされた。また、事務局の体制が5人から4人になったことにより事務に支障をきたしているのではな

有村治子顧問と一緒に
有村治子顧問と一緒に
有村治子顧問と一緒に

事務局の説明後、荒井監事から、午前中に監査を実施し、会計帳簿及び関係書類を閲覧し、財務諸表、付属明細書を監査したが、財務結果、平成30年度事業報告と決算報告、平成31年度事業計画(案)・収支報告、役員(監事)の選任(監事)の他事項を審議事項にすることとし、第1号議案から第6号議案として提案することにした。

○次期役員推薦委員会について
次期役員推薦委員会について検討した結果、委員に選挙に自由民主党候補者として公認されたので支援を頂きたいとの挨拶をされた。

また、理事会に顧問である有村治子参議院議員が訪れ、来年の参議院議員通常選挙に自由民主党候補者として公認されたので支援を頂きたいとの挨拶をされた。

また、理事会に顧問である有村治子参議院議員が訪れ、来年の参議院議員通常選挙に自由民主党候補者として公認されたので支援を頂きたいとの挨拶をされた。



コンテナ部会

平成31年度通常総会



部会長の吉澤信行氏

平成31年度コンテナ部会通常総会は1月30日（水）9時より、TKP名駅桜通ロカンファレンスセンターで開催されました。部会員27名の出席を得て、川村和泉幹事の開会宣言により総会が進行しました。

先ず吉澤信行部会長が挨拶に立ち、2021年で40周年を迎えるコンテナ部会の歴史を踏まえ、植木業界の構造が変化する中において売り方の仕組みなどを皆で知恵を出し合い、将来に道筋をつけることが求められると話されました。

次に来賓挨拶として、穴倉孝行会長は厳しい環境の緑化業界にあって、高木に比べコンテナ栽培の低木需要はしっかりとおり、世界の樹種導入やパテントの活用など工夫も見られると述べました。その上で樹木の売り方や宣伝方法などで、部会に新しい提案が生まれることを期待したいと挨拶をいただきました。

最後に森田善朗担当理事より、植木協会と日本野鳥の会との繋がりを昨年7月に作ることができ、環境保全の観点から結びつきを深めていく中で、新たな機

会の創出もできるのではとの挨拶がありました。

【総会議事】
議事に先立ち、司会の川村幹事より、議長選出を出席者に諮り、愛知県支部（株）レコムグリーンの村田利博氏が指名され、承認されました。

議長は議事録署名

人の選出を出席者に諮り、(株)グリーンファームオオタの太田道雄氏と岐阜種苗(株)の竹中昭雄氏が承認されました。

議長は議事録署名
平成30年度事業報告は事務局ならびに各委員長より報告がなされました。吉澤部会長は総務会の活動として、主に外部団体との協業・情報交換に努めたことを報告。広報・普及委員会を主幹する飯田貴大副部会長は「屋上緑化用植物の耐乾燥性の研究」、「乾燥に強い節水型緑化植物」の販売を行ったほか、新たにミウラ折りパンフレット第2弾となるサクラのぼつと見ガイドの制作を開始したことを説明しました。

調査・研究委員会担当の松村幹了副部会長からは、供給可能量調査の回答が120社園中90社園に上り、部会加入者の75%から調査協力を得られたことな

事務局より、各賞の受賞者紹介があり、従業員永年勤続は、伊藤昭二氏（バードグリーン）、石黒美智子氏（(株)グリーンファームオオタ）、城下優子氏（(株)グリーンファームオオタ）、山本和生氏（(株)美好緑化）、大木薫氏（(株)レコムグリーン）の5名の方が表彰されました。

認定特別庭園樹木は、(株)小田原植木の近藤増男氏のアカマツ、ゴヨウマツ、クログネモチが表彰されました。

2 新規入会者紹介
池谷農園（静岡県）の池谷俊裕氏は、お茶栽培から緑化樹生産に経営をシフトする中、一歩前進するため市・鈴鹿市で実施した国内研修について、プロジェクトを使用して分かりやすい説明を行いました。

第2号議案
平成30年度決算報告及び監査報告は事務局が決算報告を行った後に、中村健次監事より監査報告がなされました。第1号議案と第2号議案については一括で承認されました。

第3号議案
平成31年度事業計画（案）は、事務局から事業計画案が報告されました。第3号議案と第4号議案については一括で承認されました。

第4号議案
平成31年度収支予算（案）は、事務局より収支予算案が報告されました。第3号議案と第4号議案については一括で承認されました。

【報告事項】
1 各賞受賞者の紹介

が閉会の辞を述べ、9時52分に終了しました。

【協力会紹介】
総会終了に続き、協力会5社（(株)阪中緑化資材、(株)グリーンサポート、大信産業(株)、南出(株)、(株)東海化成）の自己紹介と商品紹介を行いました。

【記念講演】
10時20分より東海物産(株)環境緑化部 大石浩氏による「農薬の使用法+α（アルファ）」についてプロジェクターを併用した講演が行われました。

講演は農薬（殺虫剤、殺菌剤、殺ダニ剤）と肥料の混用は一度に散布でき、省力化のメリットがあるという話から始まりました。ただし、農薬同士で相性の悪いものがあり、注意が必要。また、農薬の混用が薬剤凝固、薬剤沈殿で葉害や効果を相殺するケースもあり、大石氏は事前にしっかりと確認することを勧めました。

わが国では2020年に農薬の再評価が始まるもので、先行する欧州では使える農薬が3分の1に減ったことから、今後

使える農薬の種類が減る可能性があると指摘されました。

薬害の発生理由として、農薬の誤使用や混用、選択ミスなどが考えられるが、通常は樹木の殺虫剤、殺菌剤散布で薬害が起こる可能性は低いと大石氏はみています。とはいえ、薬害のリスクを避けるため、萌芽期や新芽展開期、花期には乳剤ではなく、水和剤、調合しやすいフロアブル剤などを選択することを勧めました。

次に最近の病害虫事例を取り上げました。2009年に東京都青梅市で初確認されたウメの輪紋ウイルスはアブラムシが媒介役となっている。中部地方では愛知県西北部や岐阜県南部が防除区域に指定され、国の監視を受けている。大石氏はアブラムシの活動が活発化する3～5月だけでなく、冬場に防除を徹底することが効果が高いと指摘されました。

2012年に愛知県飛鳥村で初確認されたクビアカツヤカミキリはサクラ、モモなどに各地で被害が広がり、果樹害虫としても警戒されている。防除は早期発見駆除が基本で、糞の痕跡などのある食害穴に農薬注入で対応を図る必要があると述べられました。

質問コーナー

1では、参加者からホルモン剤の使い方、農薬製造・散布と亜酸化窒素の環境問題、クビアカツヤカミキリ防除の有効薬剤、殺虫剤と液肥の混合など活発な質問が寄せられました。最後に吉澤部会長の謝辞で講演会は終了しました。

【総務会報告】
12時40分より総会会場でコンテナ部会役員、担当理事、協力会5社の総勢15名が参加して懇談会が開催されました。

恒石副部会長が司会を務め、吉澤部会長、森田担当理事の挨拶後に参加者全員が自己紹介と事業紹介を行いました。

協力会各社の注力分野では、(株)阪中緑化資材は山林苗用230ccコンテナを、大信産業(株)は農薬散布用ドローンの取り扱いを強調されました。南出(株)は都市壁面緑化資材や遮熱効果資材に取り組んでいることを説明しました。(株)東海化成は廃プラスチックボイラ、播種機など取り扱い商品を広げていることをアピールしました。また、(株)グリーンサポートは沖縄高等専門学校と共同研究し、漆の破砕・遠心分離抽出について本格始動し始めたことを報告しました。

協力会との質疑応答
Q 早生樹の需要は出てきているか。
A 長野の奨励もあり、コウヨウゼンなどの需要が出ている。県単位では鳥取県、広島県などが早生樹生産に積極的。ただし、鹿の



おかげさまで
皆様とともに
100年
創業 大正8年

〒244-0004 横浜市戸塚区小雀町1805
TEL.045-851-1805 FAX.045-852-6068
E-mail : matsu-tora@ikoma-ueki.co.jp
http://www.ikoma-ueki.co.jp

造園材料販売 造園設計施工
生駒植木株式会社 代表取締役 生駒 順

食害はある。(株)グリーンサポート、(株)阪中緑化資材)
Q 漆を粉砕・遠心分離して抽出するというのが、漆は再び植えるのか。
A 漆の抽出は5～6年育った後、伐採して粉砕・遠心分離にかけ、抽出する。この方法なら漆かぶれがない。品質的には問題がない。(株)グリーンサポート) 春季資材特別セールについて
以上をもって、総会及び総務会全ての議事を13時50分に終了しました。

シリーズ 協会各委員会紹介

第1弾

カレンダー委員会



平成31年度協会カレンダー

当委員会は、簡単に言えば、本協会のカレンダーを編集している委員会です。カレンダーを編集すると言っても、イメージが湧かないかも知れませんが、季節に合った木の写真を貼り付け、掲載する樹種の解説を書けば、完成！という訳なのですが、実際は、そんなスムーズにはいきません。(現在は、NHK出版「趣味の園芸」編集部が協

力してくれていますので、新樹種部会が独自で編集していた時代より、かなり苦労する度合いは少なくなっていますが…)

表紙や月毎のメインになる写真は大きいので、画素数が高く、見応えのある写真を選ぶ必要があります。また、その脇に添える写真も植物本来の魅力ある特徴をおおいに表現していなければ不可です。なお、当たり前のことですが、ピンボケは論外です。新樹種部会が撮り貯めた画像も数多くありますが、鮮度が薄れているものもあり、活きのよい画像をお届けしたく、我々編集委員が自主的に撮影しているのです。NHK出版のプロカメラマンから提供いただいた画像もあるのですが、植物の専門家でないと、本当の意味で植物の魅力を写すことはできないかも知れません。本協会の方々と、腕に自信のある方、ご自慢の写真がありましたら、本協会事務局まで、お送りください。

掲載樹種の解説については、その植物の特徴や魅力を記載すればいいのですが、図鑑ではないので、その植物に興味を持ってもらえるような、購買意欲を刺激するような、解説に仕上げたいと思っています。我々は、理科系が多く、いつも作文で苦労していますが、文章力とセンスが問われます。

メンバーは、委員長が秋山富士雄(有あすま緑化園)、編集委員長が、森川雅広(有森川園芸)、編集委員は、足澤匡(小岩井農牧株)、川原田邦彦(確実園園芸場)、石川重明(石川環境緑化株)、山崎隆雄(株ワイズプランツ)、中村健次(株中村農園)、近藤盛太郎(有小田原植木)の8名にオブザーバーである、大倉孝行(有グリーンシシクラ)、大島寿裕(エイコス)を加え、総勢10名です。今年も来年(2020年)のカレンダー編集のために、年10回ほどの会合を予定していますが、我々として渾身のカレンダーを作成する意気込みで臨みますので、本協会員の皆様におかれましては、お客様とのコミュニケーションのツールとして、是非大量購入をご検討ください。

今後ともカレンダー委員会の活動にご理解とご協力をお願いいたします。



★ある日の会議風景

～カレンダー編集・画像選び

編集委員長 「これからAさんの画像を見ましょう。」

～スクリーンに画像を映し出す。

委員A 「この画像は昨年〇〇で撮りました。」

委員B 「ピントが合ってる？ もう少し拡大してみて！」

～画像を拡大する。

全員 「…」

委員C 「ダメだな！ これは使えないね。ピントの問題もあるけど、背景が悪いし、全体的に暗いよ。」

委員A 「あの日天気が悪くて……。」

委員B 「天気がいい日に撮り直したら……。」

委員A 「はい。次の画像は自信があるんですけど……。」

～次の画像を見て、

全員 「…」

委員C 「どの辺に自信があるの？ これじゃあ第一次選考通過も難しいよ。」

委員B 「第二次選考までは残るんじゃない。とりあえず残したらいいんじゃない。」

委員D 「まあー、残しておくか。最終選考までは残らないと思うけど……。」

委員A 「はい。お願いします。この後の数枚は自信ないので流していいですよ。」

委員B 「自信ないなら、見る価値ないけど、まあー、見ますか！」

～残りの画像数枚を流す。ある画像の時に、

委員D 「この画像！ 使えるんじゃない!!」

委員A 「えー、ピンボケなんですけど。」

委員C 「ピンボケだけど、雰囲気がいいんだよ。」

委員B 「うん！ ピンボケが、逆にとてもいい味を出してるよ。木の特徴、表情をよく捉えてるし……。」

委員D 「最終選考まで残るよ。採用されるかも知れないな！」

さて、このAさんのピンボケの画像は使われたのでしょうか？
この結果は、皆さんのご想像にお任せいたします。

レポーター：足澤 匡 (小岩井農牧株・岩手県)



●公園サイン
「わかりやすく、楽しく」をコンセプトにデザインを

●緑の調査・設計
海外におけるマングルー

ブの生育調査や、東日本大震災後の復興に用いる樹種の調査など、高い専門性を要する案件を手がけてきました。また、サインや樹名札の設置のための植物調査や外構の植栽設計などもお任せ下さい。

●印刷媒体
当社には植物に関する情報と、膨大な同定済の写真があります。その専門性を活かし、業界の皆様が利用

行っています。大型の総合案内板から、誘導標、小型の制札板まで、数多くの実績があります。それらを二括でデザインできるため、公園全体のイメージを統一することが可能です。また、広域の観光案内板や、寺社仏閣の解説板などにも実績があります。

緑のこと、もっと良くしたい。もっと伝えたい。

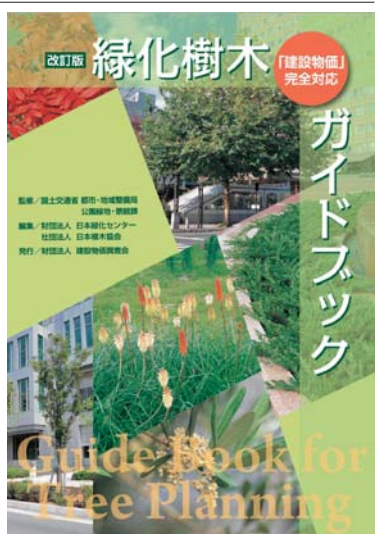
シリーズ
賛助会員紹介
株式会社アスコット
No.10



●「緑の名札」(樹名札)
当社の樹名札、「緑の名札」は3つの願いで作られています。「1. 植物のことを多くの人に知ってほしい」、「2. その場に適切な名札でありたい」、「3. リーズナブルな価格でお届けしたい」、この3点です。

●「緑の名札」(樹名札)
当社の樹名札、「緑の名札」は3つの願いで作られています。「1. 植物のことを多くの人に知ってほしい」、「2. その場に適切な名札でありたい」、「3. リーズナブルな価格でお届けしたい」、この3点です。

●「緑の名札」(樹名札)
当社の樹名札、「緑の名札」は3つの願いで作られています。「1. 植物のことを多くの人に知ってほしい」、「2. その場に適切な名札でありたい」、「3. リーズナブルな価格でお届けしたい」、この3点です。



特集

台風第24号の塩害と狂い咲き

株式会社 アスコット
若 林 芳 樹

狂い咲きは、本来の開花時期ではない秋の時期などに、虫害や塩害、強風害などにより葉の大部分が失われた場合などに往々にして見られます。これは葉で生産され生長を抑制する（休眠を保持する）植物ホルモン（アブシシン酸）が、葉が失われることにより生産が滞ってしまい、秋などの時期はまだ気温が高いため、分化した花芽が休眠せずに生長し開花に至る現象といわれています。

昨年9月30日の夜から10月1日の朝にかけて和歌山県から岩手県にかけて日本を縦断した台風第24号は、稀に見る風台風で各地に大きな被害をもたらしました。特に東海から関東にかけての太平洋沿岸地域では、風台風特有の塩害が広範囲に発生し、台風が過ぎ去った後に電車が止まったり停電したりで大混乱しました。また、農産物や樹木などにおいても葉が枯れるなどの被害が発生しました。協会の方々の苗圃でもその被害が発生したのではないのでしょうか。

塩害は台風などの強風により海面から巻き上げられた海水が、沿岸地域ばかりでなくかなり内陸の方まで運ばれて植物の枝葉に付着することにより発生します。一般的な大雨を伴う台風の場合は、巻き上げられ運ばれた海水が植物の枝葉に付着しても、強い雨によって洗い流されるため、塩害に特に弱い種類や枝葉に擦り傷などのある場合を除き、枯れが目立つことは少ないのですが、今回の台風第24号は大型の強い台風で、強風が吹き荒れたにもかかわらず降水量が極めて少なかったので大きな被害となりました。

私の住んでいる神奈川県藤沢市（辻堂）を例にとると、最大風速は南南西の風25.5m（10月1日01時17分観測）、最大瞬間風速は南の風36.8m（10月1日00時13分観測）の風が吹き荒れたのに反し、降水量は10月1日0～06時までの6時間でたったの5mmしか降りませんでした（横浜地方気象台 平成30年台風第24号に関する神奈川県気象速報による）。

ご存じのように神奈川県は大部分は南に相模湾に面しており、特に藤沢市など湘南と呼ばれる沿岸地域は普段でも塩害がひどいところとして知られ、今回の台風の風は南や南南西の風が強かったので、湘南の潮風がかなり内陸まで運ばれて塩害が発生しました。

今回の台風による塩害が広範囲に現れていることが報道されたことや身近にいろいろな植物にひどい塩害の事例が見られたこともあり、こんな機会はめったにないであろうと思い、神奈川県内などで塩害の状況を撮影して記録することにしました。

撮影した場所は、臨海部として熱海、辻堂、江ノ島、横浜、やや内陸部として小田原、横浜市閩内、内陸部として藤沢市長後、横浜市東戸塚などです。撮影した写真は植物の種類は草本から樹木まで700種以上、6,000枚位になるかと思っています。これについては整理に時間がかかるかと思いますが取りまとめていきたいと思っています。

塩害で植物の枝葉が大きなダメージを受け枯れた場合、落葉する現象が特に落葉樹に顕著に見られました。また、塩害による落葉ばかりでなく今回の台風

は風も強かったことから、海岸に近い場所や建物周りなど特に風の強かった場所では葉がちぎれたり吹き飛ばされたりして丸坊主になってしまった樹木も少なからず見られました。

今回もソメイヨシノが開花したという狂い咲きのニュースが放映されていましたが、塩害の撮影中にサクラ類ばかりでなく30種を超えるいろいろな植物に狂い咲き現象が見られたことからその状況を紹介したいと思います。

①開花が確認された種類と開花時期（開花確認リスト参照）

開花が確認された種類と開花時期は、最も早く確認した種類はベニスモモで台風の通過2週間後でした。比較的开花が早く台風通過後概ね3～4週間の10月中旬に開花が確認された種類はベニバスモモを含め7種でした。その他大部分の種類（23種）は11月（1ヶ月後）以降に開花を確認しました。遅い開花事例としては、ハコネウツギとオオベニウツギ ‘オーレオ バリエガータ’ が12月中旬以降、最も遅い例としてはヒベリカム カリシナムの1月24日があり、最近（2月になってから）ギンモクセイの開花が確認されました。ただし、これら遅く咲いた種類は横浜市の都心部など比較的温暖な場所で確認されたもので、郊外などの降霜の強い地域では、凍結害などにより開花に至らなかった可能性があります。

②本来の開花時期と狂い咲きの関係

本来の開花時期について見ると、大部分の種類は春（1～4月）の比較的最早い時期に開花する種類が多く22種を数えました。次いで晩春から初夏（5～6月）に開花する種類が8種類、他に秋（9～10月）に咲くハギが3種類とギンモクセイを確認しました。ただし、秋に咲くハギの場合は、咲き終わらないくらいにの時期に早めに切り戻すと初冬に再開花する性質が見られることから、塩害が切り戻しと同じような状態を引き起こしたとも考えられます。

③新梢は発生したが開花の確認されなかった種類

塩害により葉が失われ、比較的早い段階から新しい枝葉の発生・伸長が確認された種類のうち開花しなかったものとしては、エゴノキ、ナツツバキ、ヒメシャラ、リョウブなどがあります。これらの種類の新梢はかなり伸長したにもかかわらず開花どころか蕾も確認できませんでした。また、コブシやシデコブシ、シモクレン、ハクモクレンなどの落葉性のモクレン類は、台風が通過した時点で梢端にはすでに蕾がはっきりと確認できる状態まで花芽が準備されていましたが、開花は確認できませんでした。

これらは生長を抑制する（休眠を保持する）植物ホルモン（アブシシン酸）の喪失以外に、日照（長日性開花）条件による開花や低温による休眠打破など他の条件が関係しているため開花に至らなかった可能性も考えられますが詳細は不明です。

なお、今回紹介した事例は私一人の限られた範囲での確認事例です。他の種類について開花事例をお持ちの方があればご紹介ください。データの充実を図っていききたいと思います。

狂い咲きの開花確認リスト

樹 木 名	狂い咲きの時期	本来の開花期
アケビ	11.01～11.12	03.14～04.16
アジサイ	10.20～12.22	05.07～06.30
ウメ 白加賀？	11.04～11.20	02.05～03.10
ウメ 唐梅	11.23～12.10	01.15～03.03
セイヨウカナメ レッドロビン	11.24～11.10	04.11～05.11
オオデマリ	10.20～11.17	04.01～05.02
ガマズミ	11.08～11.21	05.10～05.29
オオシマザクラ	10.20～11.17	03.19～04.06
マメザクラ	10.19～11.28	03.30～04.13
シモツケ	11.19～11.28	05.08～06.17
コデマリ	11.01～01.07	04.06～04.29
ユキヤナギ	10.28～12.10	02.02～04.07
ベニバナシャリンバイ	11.11～11.21	04.03～05.08
スモモ	11.11～11.21	03.12～03.30
ベニバスモモ	10.16～11.17	03.10～03.29
センリョウ	11.17～12.10	05.19～07.13
ハコネウツギ	12.24～01.17	05.03～05.31
オオベニウツギ オーレオバリエガータ	12.27～01.17	04.19～05.12
トサミズキ	11.05～11.25	02.23～03.22
ヒュウガミズキ	10.26～11.23	03.09～04.03
ソメワケハギ	11.07～12.16	09.09～10.23
マルバハギ	11.07～12.19	09.09～10.25
ミヤギノハギ	11.07～11.20	06.28～10.10
ハナズオウ	11.19～11.16	03.21～04.20
ヒベリカム カリシナム	19.01.24～	05.16～06.12
ボケ	11.01～12.14	02.14～04.16
アオハダ	11.06～11.24	5～6月
ウメドoki	11.08～12.11	05.09～05.28
アーモンド	11.07～11.21	03.10～04.03
テルテモモ	11.13～11.21	03.15～04.14
クラブアップル	11.14～12.05	4月
ハナカイドウ	11.05～01.19	03.24～04.09
ヒメリンゴ	11.07～11.17	03.28～04.19
ギンモクセイ	19.02.01～	09.07～09.25

注）本来の開花期：2018年確認開花期を示す
ただし、月表示は図鑑より引用

シリーズ ちょっと一息、ほっこり出来るような記事を募集しています。是非お送り下さい。

TEA TIME



【突撃電話インタビュー】

生駒 順 (生駒植木株・神奈川県) × 事務局

協会事務局に鳥取県の加藤一巳(有)辰巳園様から、「有村治子先生(協会顧問・参議院議員)のfacebookに、靖國神社に生駒さんがシダレザクラを献木したって載っているよ」と連絡がありました。慌てて事務局が確認すると、本当に大きなシダレザクラが掲載されていました。早速、生駒さまに電話してみると…。

事務局Q 事務局に情報が入って靖國神社に献木したって聞いたのですが、どういういきさつですか？

生駒氏A 靖國神社が創建150周年で境内を整備しています。整備工事にともない、弊社が昭和53年に献木したイチョウの木を撤去してほしいとご連絡を頂きました。神社繁栄のために撤去はご了承いたしますが、靖國さまが先人の功績を祀って国家繁栄を願っているように、弊社も先人の功績や苦勞を忘れることなく事業をつないでいきたい。そのためにも代わるものを献木させてほしいとお願いいたしました。

Q 特別の場所ですが…

A 靖國さまも、整備をしている設計者・施工者のかたも、こちらの気持ちをご理解していただき、格別なご配慮を頂きました。植樹場所の選定から施工日の設定、搬入や施工時のお手伝いなどたくさんの方に協力いただきました。

Q なんでシダレザクラにしたのですか？

A 靖國さま、整備の設計者とお話をさせていただき、最もふさわしいのがシダレザクラとなりました。靖國神社はというか国花



社員さんと一緒に

はサクラとキクですからね。

Q 生駒植木さまも創立100周年とか…

A そうなんです。今年が創業100周年で、記念事業としてもこの献木のお話をまとめたかったんです。会社全体が一つにまとまるような事業を形にできて良かったです。200周年を迎えられるようにつないでいきたいです。(笑)(笑)

Q facebookのお写真、いい笑顔ですね？

A 地元(横浜市)のさかい学衆議院議員に立会いいただきました。協会顧問でもあり神道政治連盟の有村治子参議院議員にも、献木することになったので見に来てほしいと連絡したところ、急なお呼びかけにもかかわらず、神事にも参列いただき、ありがたい事業となりました。

ご先祖さまも喜んでいでしょうね。お忙しい中、お電話ありがとうございました。



さかい学衆議院議員と 有村治子参議院議員と

連載

植木よもやも話 ⑤

東京農業大学教授 濱野周泰



タイサンボク (*Magnolia grandiflora*) は、外来樹木の中でも最も良く知られている樹木である。公園に植えられていることが多く、個人の庭園には植えられていることが少ない。最近では、街路樹としても植えられていることがある。しかし、一般にタイサンボクと呼ばれている樹木は、ほとんどがホソバタイサンボク (*Magnolia grandiflora* var. *lanceolata*) である。

本来のタイサンボクは、北アメリカ南部地方のノース・カロライナ州からフロリダ州にかけて分布し、湿り気のある樹林のなかに多く自生している。原産地の北限は北アメリカ北東部のフィラデルフィア市(北緯約40°)付近とされている。日本では、盛岡市北部辺りに相当する緯度であり、日本の、この地域の気候は常緑樹のタイサンボクが生育するには厳しい環境である。分布北限のフィラデルフィア市が位置するペンシルベニア州の「シルベニア」はラテン語の森を意味している。同地方では、タイサンボクは庭園や公園、墓園にも植えられる。また並木としても利用されている。1734年にはヨーロッパに入り、各地に植えられた。特に地中海沿岸地方に多く植栽されている。



②タイサンボク花：ホソバタイサンボクの花よりも花弁が薄く、弁の先がやや尖り半開きのタイサンボクの花、葉も薄く葉縁が波状になっている



①タイサンボク樹形：上野公園に記念植樹されたグラントギョクラン(タイサンボク)の往時の樹形、ホソバタイサンボクよりも枝振りがやや粗い

タイサンボクが日本に渡来したのは明治6(1873)年であり、今から146年前である。明治12年には、アメリカのグラント將軍夫妻が来日した時に、記念として夫人が上野公園にタイサンボクを植えた。植樹に使用されたタイサンボクは、一説によると、津田仙氏の自宅の庭で育苗中のものであったとされている。このタイサンボクは、グラントギョクランと呼ばれ上野動物園に向かって左に植えられ

濱野周泰プロフィール

東京農業大学農学部造園学科卒業、東京農業大学教授、同大学院農学研究科指導教授、博士(生物環境調節学)、社会資本整備検討会道路技術委員会道路緑化技術部会長として道路緑化技術基準の改訂。特定外来生物等分類群専門家グループ(植物)委員、第二次明治神宮境内総合調査植物調査主査。鶴岡八幡宮大イチョウ倒伏の再生統括監修。国分寺市農業委員、三鷹市・武蔵野市・江戸川区の文化財保護審議委員。著書は世界の巨樹と絶景の森、イチョウの絵本、大人の園芸「庭木・花木・果樹」、葉っぱで覚える樹木、他。

た。十数年前に見たときは、かなり衰弱していた。

タイサンボクは、樹形が雄大であることから公園など広い空間の場所に適しており、個人の庭園にはあまり向いていない。枝が粗く分岐し葉が枝先にまとまって付き、樹形が整いにくいことから剪定は難しい。分布の北限域では、幼木や移植した年の冬は防寒の方策を行わないと寒害をうける。地中海沿岸地方や東アジアの台湾や上海、広東などに入ったタイサンボクは、良好な生育をしていることから温暖な地域を好む性質であることが窺える。

先に述べたとおり、日本で一般にタイサンボクと呼ばれているホソバタイサンボクは、葉は披針形から広披針形で厚く硬く、葉縁は裏面側に反り返る。葉の裏には褐色の毛のあるものもある。一方、タイサンボクの葉は長さ20cm程度の長楕円形から楕円形や卵形でやや薄く、葉縁は波状になり、濃緑色から鮮緑色で葉の裏は褐色の毛で覆われていることが多い。ホソバタイサンボクは、基本種よりも耐寒性があることから東南北部、宮城県沿岸辺りから九州・沖縄まで植えられている。基本種と同様に枝先に葉がまとまって付くが、枝の分枝間はやや短く、樹形も整うことから剪定による整姿は可能である。強剪定による樹形の抑制は難しいが、耐寒性があり、造園の取り扱いが容易なことが、日本で広く植えられている要因の一つであると考えられる。

現在でも、ホソバタイサンボクを「タイサンボク」、タイサンボクを「グラントギョクラン」と呼ぶことを勧めることがある。



③ホソバタイサンボク街路樹：日本で多く植えられているホソバタイサンボク、街路樹として植えられ寒風と乾燥防止の寒冷紗が施されている



④ヒメタイサンボク：タイサンボクの類縁種ヒメタイサンボク、別名バージニアモクレン、暖地では常緑であるが関東地方では落葉することが多い、葉は薄く裏に絹毛がある



福岡県支部



熊本県支部

皆様、いつもお世話になっております。青年部会、石松です。

青年部会だより
九州ブロック
緑育は昨年も10回！
九州ブロック長 石松 要一郎
(有)石松樹苗園・熊本県

現在、有限会社 石松樹苗園で山林苗中心に活動中。
メインはスギマルチキヤビティコンテナ。ヒノキ・クヌギ・コナラもコンテナで生産中です。あと、落葉フリュイ苗も全国発送中です。さて今回は、九州ブロッ



大分県支部



鹿児島県支部

ックでは35人の会員で活動しています。残念ながら今年から大分県支部が1人になってしま

って活動ができなくなりました。1月16日に鹿児島で総会が行われました。多少トラブルがあり訂正部分を懇親会前までに修正する作業が入

ってしまいましたが、無事九州ブロックでは緑育出前授業を積極的に行っています。昨年4県で10回行いました。緑の大切さを教えていくために今後も活動を続けていきたいと思っていますので皆様のご協力を宜しくお願い致します。



平成31年1月9日に協会青年部日本ブロックの総会が名古屋にて開催されました。中日本ブロックとは、聞きなれない方もいらっしゃると思いますが、関西ブロック青年部の人数が近年、4人（兵庫1名和歌山1名 滋賀2名）まで減少した為、昨年の総会から中部ブロック青年部と合併して頂きまして、静岡



今回は、12年前の事を思い出してみたいと思います。私が青年部に入会したのは28歳の時でした。以前は畑違いのサラリーマンやっ

ていました。なんと、弊社事業については知っていません。私は、弊社に帰って来たらすぐに青年部に入会しました。当初は、業界用語が飛び交い

な感じがしましたが、徐々に職場で知識と経験を積んだ事により部員とよりの深い会話ができるようになった事を覚えて

います。また、総会・研修会等では植木を生業としている同志が全国から集ま

ってきまして、色々な情報収集や現場視察が出来、私にとって良い機

会でもありました。今回、入会された部員に伝えたい事は、ただ、青年部員になっただけでは何も始まらないという事です。

総会では、親会の来賓ブロック長様が必ずと言っていいほど、青年部は交流がメインと言われます。後、この地を楽しんでくださいと植木の事は、人間関係がすごく大事な業種です。無理なお願いをする機会が大変多いです。皆さんが無理なお願いを聞いてくれるのも、定期的に顔を合わせて交流することで出来た信頼関係だと思

青年部会だより
青年部中日本ブロック総会で思う事
関西支部長 松居 隆史
(松居農園株・滋賀県)

〜兵庫と広範囲に渡る青年部員が所属するブロックとなり共に活動させていた

ています。今回、行われた総会の感想は、なんといっても、我々、関西支部がずっと待ち焦がれていた若手部員が兵庫県からなんと6名!!入会があった事です。（なんと12年ぶりです！（私が12年前の入会者））

緑化通信の私の執筆もすでに5回目です…

今回は、12年前の事を思い出してみたいと思います。私が青年部に入会したのは28歳の時でした。以前は畑違いのサラリーマンやっ



新入会員6名 関西支部（兵庫県）

日本列島植木植物園 ナショナルプランツ コレクション*



スモモのエスパリエ



サクランボのエスパリエ(花)

鳥取県 (有)田宮園芸 田宮慎二
☎0859-54-4756

～エスパリエ～

エスパリエとは樹木の枝を格子などに誘引し、薄い壁のような立体的な樹姿に仕立てたもので、果樹や緑化樹、つる植物などが多く用いられます。狭い庭園で果樹を楽しむために適した方法で、弊社では高さ2m、枝幅4m程度の鉢植えで仕立てており、お子様や車椅子の方でも手が届く高さなので、果物を収穫する喜びを手軽に体験できます。立体的に仕立てられているので、果実の収穫量も確保でき、鉢植えなのでトラックでの搬送も容易で、幼稚園や老人ホームなどでの催しへの提供が可能です。

サクランボ		リンゴ	ブドウ
スモモ ‘メスレー’	(カラミザクラ、暖地桜桃)	‘アルプス乙女’	(‘デラウェア’、‘マスカット・ペイリー・A’)
<i>Prunus salicina</i> ‘Methley’	<i>Cerasus pseudocerasus</i>	<i>Malus</i> ‘Alps Otome’	<i>Vitis</i> ‘Delaware’/‘Muscat Bailey A’
			
メスレーの果実	サクランボの果実	アルプス乙女の果実	ブドウの果実



ブドウのエスパリエ

(ヒメリンゴとブドウの仕立てもあります)

*ナショナルプランツ コレクションとは、世界的に価値のある植物の種・品種等を属のレベルで集め、植物の多様性の維持や希少種・絶滅危惧種の保護に役立てる事を目的としたコレクションです。



特集 竹はポピュラー、なれど不思議な植物 ④

竹にオス・メス有りと言う！ どれがオス？ どれがメス？ 渡 邊 政 俊

40数年前、上田弘一郎京大名誉教授が講演で、『竹にはオスとメスがあり、地下で交尾してタケノコを生むんだ。だから、メダケをしっかりと育てないと、いいタケノコが沢山生えないんだ』と力説する篤農家が出て、驚いた！』と話されたのを思い出した。筆者は竹林浴が楽しめる京都市洛西竹林公園(写真1)で来園者に接する機会が多いが、小学生から『どの竹がオスで、どの竹がメスですか？』と尋ねられたことが数回ある。



写真1 竹林浴が楽しめる京都市洛西竹林公園生態園



写真2 イシヨウチザサの小穂
めしべ(雌ずい)とおしべ(雄ずい)
(西村 博氏提供)

つい最近のことだが、竹のオス・メスを信じる御仁が来園され、事務職員に『オダケとメダケを確認に来た。どこに生えているのか教えてくれ！』と。そこで、対応した事務職員が『竹にはオス・メスはないと聞いていますよ。』と答えたところ、御仁は仕方なく園内に消えたとのことであった。

さて、このオダケ(雄竹)・メダケ(雌竹)は相当古くから使われていたようであるが、言うまでもなく、タケ・ササ類はイネ科のタケ亜科に属する植物であり、雌雄異株ではない。一例として、2016年に開花したイシヨウチザサの一個の小穂(写真2)をみると、雌ずい(めしべ)と雄ずい(おしべ)がしっかり確認できる。すなわち、植物学的には竹のオス・メスは論外の話なのであるが、よく問われるオダケ、メダケとは一体何なのかである。

まず、モウソウチクやマダケなどのマダケ属は各節から2本の枝を出すのが形態的特徴である。しかし、枝条部を形成している最も下の節から出ている最下枝では、枝が1本の個体も見られる。そこで、最下枝が1本の竹を「オダケ」、2本の竹を「メダケ」と称されているので

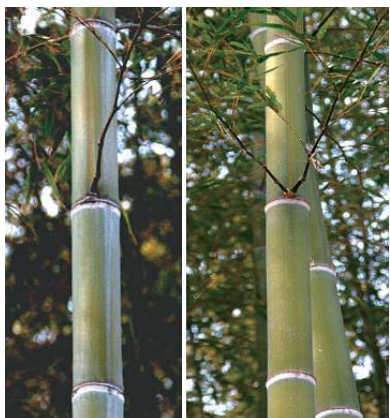


写真3 モウソウチクのオダケ(左)とメダケ(右)
最下枝1本=オダケ、最下枝2本=メダケ

ある(写真3)。

この竹のオス・メスについては単なる伝説1)との見方が一般的であるが、実際にタケノコ栽培をしている農家では、最下枝が2本のメダケを母竹として育て、施肥などの管理にも留意される傾向がある。そこで、上田2)は、このオダケ・メダケの発現率を調査し、興味ある結果を示した(図1)。たとえば、目通り直径が4cmまでの個体ではオダケの発現率が50%を超えるが、5cm以上の個体ではメダケの発現率がほぼ70%と高く、竹稈が太い個体ほどメダケが多くなる傾向を示している。さらに、メダケ林で細いオダケを掘り起こして地下茎を調べたところ、いちじるしく年を重ねた6~7年生以上の老齢時代にそのオダケを生じたことが明らかになったといい、その状況を写真とともに説明されている。

すなわち、最下枝が2本の個体(メダケ)は直径が大きく、しかも若い地下茎から成長している可能性が高い。したがって、タケノコ栽培では母竹(親竹)として選ばれているのであり、実際に「京たけのこ」の栽培モウソウチク林ではメダケだけで見事に母竹管理された竹林がほとんどである(写真4)。

それにしても、長年の栽培経験から竹をオスとメスに見分ける術を見出し、タケノコ栽培に生かしてきた先人の智慧には頭の下がる思いがする。

- 引用文献 1) 室井緯(1968)竹類語彙、産業図書
2) 上田弘一郎(1963)有用竹と筍、博友社

◆プロフィール

1933年 富山県生まれ。京都外国語短期大学卒。1951~1991年京都大学農学部附属演習林文部技官。この間、故上田弘一郎京大名誉教授の研究を手伝う。1986年九州大学農学博士。1992~2002(隔年)高知大学農学部非常勤講師。1993年以降林野庁特用林産ビジョン検討委員会委員など現在まで竹・タケノコ関連事業委員に就任。元国際協力機構(JICA)専門家(1970~72年タイ、1994、95、97年インドネシア、1996年チリ)。現在、全日本竹産業連合会事務局長、竹文化振興協会専門員、京都市洛西竹林公園専門員。

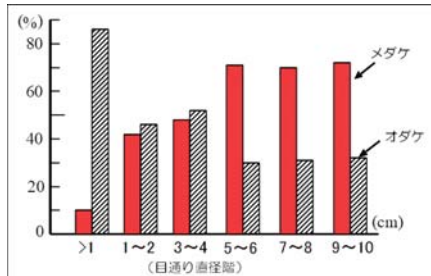


図1 竹稈の直径階別オダケ・メダケの発現率



写真4 すべてメダケで母竹管理されている京都市タケノコ栽培竹林



地球に優しく、植物にも優しい
生分解性 biopot



有限会社 グリーンサポート

大阪府貝塚市三ツ松 688-3

TEL 072-447-0112 ・ FAX 072-447-0133

HP: <http://www.green-support.com>



あなただけの本を作りませんか？

あなたの夢・あたためている作品を形にしてみませんか？
皆さまの本作り一準備から納本まで一誠意をもってお受けします。



わたしたちに
おまかせください！



関東図書
の
自費出版
KANTO TOSHIO

関東図書株式会社

〒336-0021 さいたま市南区別所3-1-10
TEL 048(862)2901代 FAX 048(862)2908代
0120-161092

<http://kanto-t.jp/>

- 自分史・写真集・画集・歌集・句集・詩集・小説・随筆 他をお考えの方は、どうぞお気軽にご相談下さい。編集スタッフが、お相手します。
- ISBN(国際書籍コード番号)もとれます。
- 他にも、HP・動画・AR等、なんでもご相談ください。

コンテナ農場(100万本生産)



コンテナ農場



オリーブ



カンツバキ赤花と白花

(株)瀬戸内園芸センター



愛媛県今治市旦甲 248-1 TEL 0898-48-0010(代) FAX 0898-48-8187
<http://www.setoen.com/> E-mail: setouchi@setoen.com

主な生産物

クロマツ コニファー類 ヤシ類
カシ類 クスノキ タブノキ
モチノキ ウバメガシ オリーブ
カクレミノ クロガネモチ
サンゴジュ シマトネリコ
マテバシイ ヤブツバキ ヤマモモ
レッドロビン オウゴンマサキ
カンツバキ(赤花と白花) サザンカ
シャリンバイ ツツジ類 トベラ
ハマヒサカキ ヒサカキ ミカン類
サクラ類 イロハモミジ ハナモモなど